

# 国語科学習指導案

日 時：令和〇年〇月〇日（〇）〇校時  
学 級：第3学年〇組 〇名  
場 所：3年〇組教室  
授業者：〇〇 〇〇

## 1 単元名

広告のよさや特性をレビューで伝えよう（「説得力のある文章を書こう」光村図書）

## 2 単元の目標

説得力のある文章を書くために、論理の展開や表現の仕方を工夫する。（書くこと：イ）

## 3 単元について

### （1）生徒の実態

一年生では、絵を分析して、鑑賞文を書く学習に取り組んだ。その際は、色彩や構図、描かれているものなどを観点として分析を行い、鑑賞文を書いた。二年生では、双活型の意見文を書く学習を行った。その際、反論を踏まえて考えたことを意見文の中に入れ、説得力をもたせることを学んだ。

三年生一学期には、「握手」という教材の学習で、批評文を書くことを経験している。書くための材料は、それまでの文章を読み取る学習で集めていたので、書くこと自体には抵抗はなかった。しかし、「批評」と「批判」の違いが判らず、書き方に戸惑っていた。また、せっかく書き上げた文章に自分の「評価」に関する記述が少なかったり、根拠と結論が結び付いていなかったりして、不完全な批評文だった。二学期には、『「批評」の言葉をためる』という教材を使い、「批評」について考える学習を行った。生徒が互いに批評をし合うことが、自分たちの感受性を高めることにつながるということを学んだ。少しずつではあるが、最初に批評文を書いたときよりも批評に対する認識を深めてきているところである。

### （2）教材について

教科書の「説得力のある文章を書こう」という教材を使う。ACジャパンの新聞広告が写真として掲載されていて、それを分析し、批評文を書くという内容である。論理の展開や表現の仕方を工夫して、説得力のある文章を書くことが目標である。写真を分析して、文章を書くための材料を集めるという学習は今回が初めてである。どのような観点で分析をすればよいのか戸惑うことが予想される。そのため、教科書に掲載されている広告でみんなで学習をし、流れを理解できるようにした後、生徒それぞれが選択した広告に向かうことができるようにする。

また本単元では、生徒が選択する4枚の広告を扱う。一つ目は「言葉は弾丸にもなる」という人権をテーマにした広告である。読む人の心にずしりと響くキャッチコピーが書かれており、言葉の使い方に注目させたい。キーボードに弾丸が描かれているなどの写真の中の細かな工夫にも気付かせたい。二つ目は、「ワシら、ピカピカ世代」という広告で、いくつになっても輝けるというメッセージが込められている。「ピカピカ」という言葉が表現しているものが何なのかを読み取らせたい。三つめは、「死因」という広告である。少ない言葉だからこそ様々なことを想像させられるキャッチコピーの巧みに気付かせたい。四つ目は、「命を守るはずの道で、命が失われている」である。固定概念を覆すキャッチコピーの言葉に注目させたい。写真に写っているものの意味することにも気付かせたい。

### （3）指導について

批評文を書く学習については、二度目の取り組みになる。前回の批評文で自分に足りなかったものを分析し、説得力のある批評文になるように論理の展開や表現の工夫ができるようになることを目指し、自分なりの目標を設定できるようにする。

クラス全体で学習する教科書の広告と同じように、ACジャパンの広告を教材として準備した。4種

類の広告から選ばせるが、どのような観点で選べばよいかも考えさせるため、選び直す機会を設ける。

自分の考えを広げ、再構築するために、周囲の生徒と交流できるグループ学習を取り入れる。グループで話し合いながら、新たな気付きが生まれ、考えを再構築できるようにしたい。今回は個人でそれぞれに目標を設定するため、達成のために必要なアドバイスが一人ずつ違う。書く学習では、丁寧に机間巡視し、個に応じたアドバイスを細やかに言い、またグループ学習の中でのやりとりを通して、できるだけ子どもたち同士でレビューをブラッシュアップできるようにサポートしたい。

#### (4) 「読み解く力」に関わる目指す児童生徒の姿とその育成のための手立て

まず生徒が「自分が選んだ広告のよさを、同じクラスの人に伝える」という目的意識をはっきりと持ち、そのために何が必要で、どのような学習活動が必要かを生徒たち自身で考えることができるようにする。

Aの側面では、よさを伝えるために必要な情報を観点に沿って確かに取り出すために、必要な情報を見極めるための観点を、全体の学習の中で学び、個人の学習へと進むことができるようにする(A①)。次に、集めた情報を分析・整理することができるワークシートを用いる(A②)。その際、まず4人組で共有し、その後個人でまとめることができるようにする。レビューを書くという学習では、説得力のある文章になるように、例文で重要な点に気付くことを通して、論理の展開や表現の工夫について学ぶことができるようにする(A③)。

Bの側面では、本単元を通して、様々な段階でグループ学習を取り入れ、他者とのやり取りから自分の考えや見方を広げ、深い理解へとつなげることができるようにする。そのために、グループ学習の際は何について話し合うのか、何のためにどのように話し合うのかを明確に指示する。

### 4 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書くこと	言語についての知識・理解・技能
・説得力のある批評文を目指して、積極的に資料を分析し、最後まで粘り強く、文章の構成を練り直している。	・説得力のある文章を書くために、論理の展開や表現を工夫することができる。	・今までに習った漢字を正しく使っている。 ・批評に関する知識を広げ、語感を磨き、語彙を豊かにする。

### 5 単元の指導と評価の計画（全6時間）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
一	1 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本単元の学習内容を知る。</li> <li>・「批評文」に関する既習事項を思い出す。</li> <li>・レビューを書くために、どのような学習活動が必要かを考え、見通しをもつ。</li> <li>・どのようなレビューを書きたいのか、本単元でのゴールのイメージをもつ。</li> <li>・四つの中から、レビューを書きたい広告を選ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「批評」と「批判」の違いを再度確認する。</li> <li>・これまで書いた批評文や教科書の例文を通して、理想のレビューを思い描けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習への見通しをもち、自分の目標を設定している。</li> </ul>
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の広告からレビューを書くためにどのような情報が必要かを考える。</li> <li>・教科書の批評文を見て、どのような内容が書かれているか、どのような視点で広告から情報を集めているかを分析する。</li> <li>・レビューに書く内容、広告から情報を集める視点をまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の広告を使って、四人組で分析をする。</li> <li>・ワークシートを活用し、集めた情報を分析・整理できるようにする。</li> <li>・<u>交流するときには、口頭で行うように指示をし、自分の考えを深めることができるようにする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のあるレビューになるように、批評文に必要な情報を積極的に分析している。</li> </ul>

二	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の選んだ広告について、前時で学んだ視点で分析をする。</li> <li>・どのような視点で分析をしたのかをグループで交流する。</li> <li>・どの視点でレビューを書くか、その根拠として何を書くのかを考える。</li> <li>・レビューに書く話題や内容、その根拠を交流する。</li> <li>・グループで解決できなかったことを全体に広げ考える。</li> <li>・自分のレビューの話題や内容、根拠を見直し、再構築する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋を効果的に使えるようにする。</li> <li>・同じ広告を選んだ生徒でグループをつくり、分析した内容が広がるようにする。</li> <li>・どの情報を使えばレビューにより説得力をもたせられるのかを考えることができるようにする。</li> <li>・<u>周囲の人と考えを交流しながら、自分のレビューに活かせる情報を見つけ、考えを深め、論理の展開を考えることができるようにする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のある文章になるように、自分の選んだ広告のレビューに必要な情報を積極的に分析、整理している。</li> </ul>
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レビューを書くときに、困りそうなことを考える。</li> <li>・モデル文を読み、説得力をもたせるための工夫を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論理の展開や批評文に使うとよい言葉や体験談を用いたり、引用をしたりするなどの工夫点を見つけることができるようにする。</li> <li>・<u>周囲の人と交流しながら、説得力をもたせる工夫について自分の考えを深めることができるようにする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>説得力をもたせるための工夫を考えることができる。</u></li> </ul>
三	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レビューの構成を考え、下書きする。</li> <li>・「説得力のあるレビューになっているか」という視点でレビューを評価し合う。</li> <li>・アドバイスを踏まえ、レビューを清書する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「説得力のあるレビュー」や「理想のレビュー」の評価の観点を具体的に思い出し、黒板に掲示する等して、評価し合い、アドバイスができるようにする。</li> <li>・<u>周囲の人と交流しながら、説得力のある批評文になるように、自分の考えを深めることができるようにする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>説得力のあるレビューになるように、倫理の展開や表現を工夫した文章を書くことができる。</u></li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・違う広告を選んだ生徒でレビューを読み合い、互いのレビューのよさを伝え合う。</li> <li>・単元での学びを振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>レビューを読み合い、よさを伝え合うことを通して、説得力のある文章の書き方について考えを広げたり、深めたりできるようにする。</u></li> <li>・本単元で自分が立てた目標を達成できているか、振り返ることができるようにする。</li> <li>・<u>周囲の人と交流しながら、説得力のある文章について、自分の考えを深めることができるようにする。</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・説得力のあるレビューについて単元での学びを振り返り、今後に生かそうとしている。</li> </ul>

※「読み解く力」に関わる留意点や評価規準については、Aは下線、Bは波線で示す。

## 6 本時の目標（本時：1／6時間目）

- ・レビューを書くことについて、自分の目標を設定することができる。
- ・レビューを書くために必要な情報を理解することができる。

## 7 本時の評価規準

- ・学習への見通しをもち、自分の目標を設定しようとしている。

## 8 本時の展開

主な学習活動等	予想される生徒の反応	指導上の留意点（・） 評価規準（□）
<p>①「今日の言葉」について知る。</p> <p>②今回の学習（「レビュー」）について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の生活とのつながりを考える。</li> <li>レビューは批評文だと知る。</li> <li>「握手」の学習時に学んだことを思い出す。</li> <li>「批評」と「批判」の違いを思い出す。</li> <li>「批評の言葉をためる」の際に学習した内容（批評し合うとどうなるか）を思い出す。</li> </ul> <p>③4つの広告を見て、一番多く星をつけたい広告を選び、理由を発表する。</p> <p>④本単元の振り返りシートを作成し、本単元の学習内容を知る。</p> <p>⑤本時の目標を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>レビューについて知っていることを口々に言う。</li> <li>覚えている内容を言う。</li> <li>ノートを見直す。</li> <li>写真の雰囲気を選ぶ。</li> <li>どれを選んでよいか分からない。</li> <li>レビューを書くという学習に興味を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>モニターを活用する。</li> <li>レビューと批評文をつなげ、学習に取り組めるようにする。</li> <li>「批評」と「批判」の違いを再度確認する。</li> <li>「批評」することによって、どのような力が付くのかを思い出すことができるようにする。</li> <li>「自分が選んだ広告のよさを周りの友達に伝える」というゴールを意識できるようにする。</li> </ul>
<p>⑥以前に書いた批評文や、モデルとなる批評文を読んで、どのようなレビューを書きたいのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モニターに提示された例文を見て、「見習いたいところ」と「改善すべきところ」を考える。</li> <li>自分が以前に書いたものと教科書の批評文を比べて、改善点を見つける。</li> </ul> <p>⑦自分なりの「理想のレビュー」を決めて、振り返りシートに記入する。</p> <p>⑧4つの広告から、一つ選ぶ。</p> <p>⑨振り返りシートに記入する。次時の学習内容を知る。</p>	<p>どんなレビューを書きたいのか考え、「理想のレビュー」を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>どこが改善すべきところか見つけられない。</li> <li>誰かの発言を聞いて、具体的な点に気付く。</li> <li>学習を踏まえて、自分の考えをまとめている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「握手」での批評文をいくつか提示する。</li> <li>まず自分で考え、次に4人で交流することを通して、どのようなレビューを書いたらよいかを考えることができるようにする。</li> <li>本単元の目標である説得力のある文章を書くことにつなげる。</li> <li>3年生では、説得力のある文章が書けるようになることが必要であることを示し、意識できるようにする。</li> <li>□自分なりの「理想のレビュー」を設定しようとしている。（振り返りシート）</li> <li>学習を進める中で変更してもよいことを伝える。</li> <li>振り返りの視点を伝える。</li> </ul>

※「読み解く力」に関わる留意点や評価規準については、Aは下線、Bは波線で示す。

## 9 授業参観の視点

- ① 生徒は目的意識をもって本単元の学習を始めることができていたか。そのための手立てはどうであったか。
- ② 生徒は「理想のレビュー」を設定することができていたか。そのための手立てはどうであったか。
- ③ 生徒はやりとりを通して自分の考えを深めることができていたか。そのための手立てはどうであったか。